

GOOD NEWS!

新病院棟

建設だより



現在、病棟となる10階以上の躯体工事を施工中です！
そして、建設中の新病院棟2階にモデルルームを作成し、
5月～6月に「実際の業務で使う際の問題点はないか」「使い勝手はどうか」など、
現場で勤務するスタッフをはじめとした関係者による最終確認が行われました。
2026年9月の開院に向け、スタッフ一同尽力してまいります。



7月時点での様子

わたしに パワーを くれるもの。

EMPOWER THE PEOPLEのスローガンを掲げ、
医療を通じて人を、
そして社会をより良いものにするために、
日々奮闘する職員たち。
そんな彼らにとって、自身の**パワー**をみなぎらせるものとは。



木下 淳
KINOSHITA ATSUSHI
兵庫医科大学
薬学部 医療薬学科
臨床薬学分野 教授

未知の領域に、躊躇なく飛び込む

コロナ禍を契機に、世界中でデジタル技術の導入が一気に加速し、教育・研究の在り方を根本から見直す必要に迫られました。戸惑いながらも「まずは試してみよう」とデジタル技術を取り入れた日々。気づけば情報科学の教育・研究に本格的に取り組み、教育分野での取り組みが評価され賞をいただいたり、学会のICT教育委員会の委員長を務めたりと、自分でも驚くような展開が続いています。

新しいものは、自分を少しでも成長させてくれる——そう信じて、これからも未知の領域へ一歩を踏み出す勇気を大切にしていきたいと思っています。



兵医広報

EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、
私たちが
いるかぎり

vol.
270
2025
SUMMER



SPECIAL

想いで伝わる兵医のかたち

医心伝心

医 心

伝 心

想いで伝わる
兵医の
かたち

立場の異なるふたりが、兵庫医科大学で交わったひとつの道。
互いを信頼するからこそ語れる、今までとこれからに向けた想い。
医を通じて心を通わせるおふたりへ、共通の質問をしました。

Q1.この道を選んだ理由は？

北岡先生の講義が好きであった事と、
先生の研究が面白そうだったから。

Q2.お互いによる新しい発見・変化・化学反応はありましたか？

批判的視点と考察力に学び、自分の思考が深まりました。

Q3.これからの「目標」を教えてください

医学の勉強を頑張り、研究は何らかの
形で続けていきたいです。

Q4.お互いに一言お願いします！

先生のもとで学べた日々感謝しています。
今後も探究を深めていきます。

研究テーマは持続的なストレスと生体
変化です。現在は臨床実習中で忙し
くも楽しい日々です。映画を見るのが
好きですが、今は医学の勉強に集中
しており、しばらくご無沙汰です。

兵庫医科大学 医学部4年
研究医コース 薬理学所属
猪原 優香

Q1.この道を選んだ理由は？

小分子による生体変化に魅かれ、
新薬開発につながる発見をしたいから。

Q2.お互いによる新しい発見・変化・化学反応はありましたか？

私自身初めての研究医コースの学生指導だったこともあり、
猪原さんと共に成長し合えたことが嬉しかったです。

Q3.これからの「目標」を教えてください

研究を発展させつつ、その魅力を学生に伝えていきたいです。

Q4.お互いに一言お願いします！

学業との両立が大変そうですが、研究を好きなことが
伝わってくるのでいつかまた研究に関わってほしいです。

ストレスと脳・臓器の関係をテーマに
研究中。朝食用の美味しい食パンを
探しに見知らぬ街を散策することが
私のストレス解消法の一つです。

兵庫医科大学 薬理学 主任教授
北岡 志保

医師

理学療法士

慢性疼痛集学的治療チーム



Q1.この道を選んだ理由は?

個人的に色々あるリハビリテーションの中でも一番難しそうと思ったから。

痛みの治療、特に慢性疼痛の治療で人生が変わる患者さんを数多く経験したから。

Q2.お互いによる新しい発見・変化・化学反応はありましたか?

高雄先生のチームはとにかく心理的安全性が高く、コミュニケーションが活発! 求心力がすごいです!

梶原さんは慢性疼痛のリハビリではピカイチ、患者の心も掴んでいます。

Q3.これからの「目標」を教えてください

SCS*などの痛みに対する治療に最新のVR療法などを組み合わせて質の高いアプローチを行っていきたい。

当院の慢性疼痛集学的治療チームで日本の一番を目指す。メンバーのそれぞれの領域での活躍。

※SCS…脊髄刺激療法

Q4.お互いに一言お願いします!

高雄先生の周りにはいつも人が集まっています。僕もそんな大人になりたいです。

痛みのリハビリで、日本のトップを目指してください! いつも有難ございます。



広島県の因島出身。音楽が好きで週末にはバンドをしています。今年で兵庫医大勤務20周年を迎え、主に痛みの治療が必要な患者さんのリハビリを担当しています。

兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部
係長・理学療法士
梶原 和久

痛みの治療をテーマに研究中。趣味は、生き物(人間含め、動物、植物)、映画、スポーツ、料理など。旅行も好きで、ケニア・タンザニアのサファリは今まで行ったなかで一番です。

兵庫医科大学病院 ペインクリニック部
部長・臨床教授
高雄 由美子



教授

基盤看護学

助教



Q1.この道を選んだ理由は?

臨床での専門分野が皮膚排泄ケアと感染管理であり、基礎看護技術に包含されるため。

土田先生の研究に対する姿勢に憧れたことがきっかけです。

Q2.お互いによる新しい発見・変化・化学反応はありましたか?

修士課程の学修や研究活動を通して、看護学の視点や実践のとらえ方が着実に成長していると感じます。

土田先生の研究姿勢や、教育・大学運営に対する情熱は私の理想の教員像です。

Q3.これからの「目標」を教えてください

私も恩師から受けたように、博士後期課程の教育を豊かにし、院生の研究者としての人生を豊かにする。

博士後期課程を修了し、一人前の研究者と認められることです。

Q4.お互いに一言お願いします!

父親、教員、博士後期課程の学生として奮闘中なので、無理はしつつも体調には気を付けて。あなたならできる!

またアルコール込みで美味しい食事に連れて行ってください!



排泄ケアと高齢者施設の感染管理を支えるシステムについて研究中。お気に入りには神戸大橋から見える神戸港の風景。晴天でも曇天でも、いろいろな神戸港の顔を見せてくれます。

兵庫医科大学 看護学部
基盤看護学 教授
土田 敏恵

10か月と5歳の育児に絶賛奮闘中。臨床経験として手術室勤務が長く、教員となった現在も手術室の医療安全をテーマに研究しています。

兵庫医科大学 看護学部 基盤看護学 助教
大学院 看護学研究科 後期課程院生
谷村 卓勇



繋げ、
兵医の
メッセージ

EMPOWER THE

Baton

EMPOWER THE PEOPLE ～心に響く医を、私たちがいる限り～
兵庫医大のスローガンで考える、自分のこと、兵医のこと。

vol.

2

頼る力を身につけたことで、わからないことをそのままにせず、先生に積極的に質問したり、仲間と一緒に考えたりしながら、学びを深める力が自然と育まれました。



兵庫医大で成長したことは？

頼る力

リハビリテーション学部 理学療法学科4年 中村 みなみ

周囲の支援を受けながら、新たな事業への挑戦や貴重な業務経験を通じて、困難な課題や苦難にも挫けず前向きに取り組む姿勢と精神が培われたと思います。



兵庫医大で成長したことは？

困難への
向き合い方

事務局長 中村 高志

職種や職位に関係なく多くの尊敬する方々から学びを得ました。医療は個ではなくチームで行うもの。他者を思いやり共に進む事を常に考えています。



兵庫医大で成長したことは？

他者と
共に進む

呼吸器外科 准教授／外来医長 橋本 昌樹

歯科スタッフのみならず、患者さんなど多くの方と関わり、助けていただき元気をもらいながら仕事に励むことができ、人との繋がり大切さを感じています。



兵庫医大で成長したことは？

人との繋がりを
大切に

歯科口腔外科 歯科衛生士 福田 怜央

元々マイナス思考になりがちでしたが、上司や同僚のポジティブな姿勢に引っ張られて、物事を前向きに考えられるようになりました。



兵庫医大で成長したことは？

前向きに
考える

臨床検査技術部 主任 吉川 理恵

各職場で、それぞれの強みを活かしてチームで業務に取り組む風土があると思います。自身の役割と責任を感じながら、日々業務に向き合っています。



兵庫医大で成長したことは？

責任感

梅田健康医学クリニック(総務部梅田事務課)主任 宇田 昇平

あの人の **素顔** に迫る。



今月の プロフェッショナル。

小児難聴に力を尽くす。
異文化のなかで育まれた、
支援者としての価値観



01 カナダで学んだ言語聴覚の分野

高校時代、教育か医療の分野に進もうと思っていた私は、悩んだ末に大学は教職を目指して教養学部を専攻しました。その中で、英語の教員免許に必要な言語学の授業で言語障害について知ったことが転機となりました。担当の先生が言語聴覚士の関啓子先生を紹介くださり、「失語症の患者さんの話」に心を動かされたことが私の仕事の原点です。この頃日本では言語聴覚士がまだ国家資格になっておらず、専門家の育成が遅れていたため、日本より研究が進んでいたカナダを勉強の拠点に選びました。英語が第一言語ではない私にとって、言語

聴覚士の養成校への入学はかなりハードルが高く、まずはブリティッシュ・コロンビア大学の言語学部に編入し、そこから養成校を目指すことにしました。苦戦しましたが、幸いにも政府系の給付型奨学金を得ることができ、無事に養成校に入学することができました。その過程で、この分野が言語専門のSpeech-Language-Pathologistと聴覚専門のAudiologistに分かれていることを知り、私は小児難聴児と関わることのできるAudiologist(オーディオロジスト)を選択しました。今はこの道を選んで本当によかったと思っています。

02 海外で直面した 多様な経験

海外での学びには言葉の壁がつきものです。アメリカとカナダで暮らした約13年間、当初は英語を聞き取れず、もどかしい思いをしました。何度も聞き返すと相手に嫌な顔をされるのでそれ以上聞けなくなってしまうたり、話の内容を推測して曖昧に答えて恥ずかしい思いをしたり。皆が笑っている中、ジョークがわからず孤独を感じたこともあります。でも、振り返ると、それが難聴者の方たちの気持ちを想像するよい経験になったと思います。聞こえづらいとはこういうことなのかと。また、私はカナダでは日本人として、日本に帰国した直後は



海外の価値観を持つ少し異質な人として、どちらの文化にもうまく馴染めない経験をしました。難聴者の中には私たちが当たり前で暮らしている“聞こえる社会”にも“手話文化の社会”にも入れず、居場所がないと感じている人もいます。単に音が聞こえないだけではなく、コミュニティに入れない不安に思いを寄せることができるのも、海外での暮らしを経験したからこそと思います。一方、カナダは多民族国家でさまざまな人種や価値観、宗教観を持つ人々がいます。そこで多様な考え方を尊重することも学びました。こちらが先回りして決めつけるのではなく、患者さん自身が心境や困りごとを話しやすくなるような工夫を心がけています。

03 専門家の養成に力を尽くす役割

小児難聴の分野には「1-3-6ゴール」という基準があります。生後1か月目までに聴覚のスクリーニングを実施し、3か月目までに難聴を診断、6か月目までに補聴器の装用を開始するというガイドラインです。こうした早期介入と支援によって3歳までに聴覚を使ったコミュニケーション能力が大きく伸びることがわかっています。けれども、日本はまだ専門家の数が足りず、診断されても適切な介入・療育につながらないケースが多いのです。オーディオロジストの養成が追いついていないことで、

ガイドライン通りに進める子どもが少ない現状に焦る気持ちが湧きますが、志を同じくするドクターたちと連携して、専門家のトレーニング体制を整備していけたらと考えています。その一方で、難聴のお子さんを育てる家族同士が支援し合える場を設けています。同じ経験をした親御さんが別の家族にアドバイスしたり、悩みを分かち合ったり。私だけではできない支援を担ってくださるパートナーのような存在です。私の喜びは人に喜んでもらうこと。つまり、患者さんの喜びが私の喜びです。誠意を持ってつくせば相手に必ず思いが伝わると信じています。



矢崎 牧 YAZAKI MAKI

兵庫医科大学病院
耳鼻咽喉科・
頭頸部外科
言語聴覚士

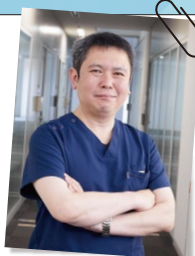
1999年国際基督教大学卒業。ブリティッシュ・コロンビア大学附属の言語聴覚士養成コースを経てオーディオロジストの資格を取得。カナダの公立病院に勤務後、2005年に帰国。外資系の補聴器・人工内耳メーカーを経て、2014年には北里大学大学院にて医学博士を取得し、2016年から現職。2024年に日本初となるオーディトリバーパルセラピスト(早期聴覚療育士)の資格を取得。

HYO-INNOVATION

— 明日の医療を支える、知の挑戦 —



社会が、未来がより良くなるために、
いったいどんなことについて
研究しているのだろう。
先生の頭の中、のぞかせてください！



木 下 淳

KINOSHITA
ATSUSHI

兵庫医科大学 薬学部 医療薬学科 臨床薬学分野 教授

薬剤師。日本薬学教育学会 理事・ICT教育委員会 委員長、薬学教育協議会 薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂のためのワーキンググループ委員などを担当。新たな薬剤師業務に注目し、その社会的効果や薬剤師の心理的变化に関する研究を進めている。令和4年度には「日本私立薬科大学協会 教育賞」を受賞。

This month's

研究 内容

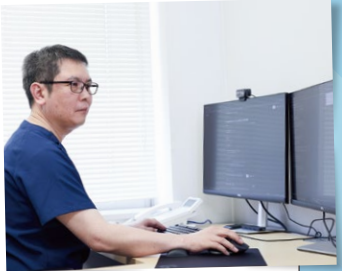
地域包括ケアシステムの浸透、デジタル技術の進展を背景に 新たな薬剤師のあり方を考える

01

“ 対物業務から対人業務へ シフトする薬剤師の仕事 ”

日本の人口の5人にひとりが75歳以上となる超高齢化社会の到来は、医療のあり方を大きく変える。病院で最期を迎えるのではなく、最後まで地域で過ごす時代になる。地域包括ケアシステムの構築はそのような社会に対応する仕組みだが、それに伴い、薬剤師の業務も大きく変わりつつある。木下教授はこうした環境変化に着目し、「新たな薬剤師のあり方」をテーマに研究を行っている。もっとも顕著な変化は、医薬品を扱う対物業務から患者を支える対人業務へシフトしたことだ。「国内の薬局はコンビニの数より多い」と木下教授が言うように、薬局は既にインフラとして地域に根差し始めている。そこで対象となるのは病院に通う患者だけではなく、地域住民全体だ。処方箋に基づく薬の受け渡しにとどまらず、薬局を訪れる人の医療の必要性の判断、地域に暮らす人たちの健康増進のためのセミナーや講演会も行うように

なった。また、法律の改正により、服薬の経過確認が義務化され、継続的なフォローとして在宅訪問を行うこともある。つまり、薬剤師の活動領域が外へ向かって広がっている。実は木下教授は前職の病院勤務時代にも薬剤師の新たな役割を切り拓いた経験がある。薬剤師が病棟に常駐していなかった時代に、初めてその一員となった。病棟業務の中に、薬剤師の視点を入れる。木下教授はその先進的な取り組みを論文にまとめ、国の政策にも影響を与えた。その経験から、「薬剤師の仕事を研究として発信していくのがアカデミアの役割」と語る。

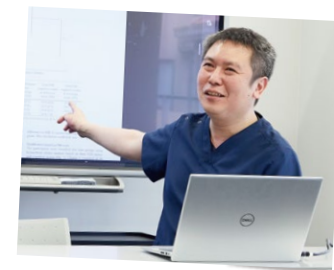


02

“ チーム医療、データサイエンス へと広がる薬学教育 ”

医療がより高度化、専門化している近年、医療の質を上げるためには多職種の連携が不可欠である。兵庫医科大学は「多職種連携教育」に力を入れている。医師、薬剤師、看護師、理学療法士・作業療法士を目指す学生たちがチームを組み臨床実習に臨んでいる。木下教授はその指導教員のひとりだ。チーム医療に求められるものは何か。木下教授は「他職種へのリスペクト」だと言う。他の職種の役割を理解し、円滑にコミュニケーションを図ることは必須だが、大前提として、患者さんへの

医療はそれぞれの職種が力を出し合うことで成り立つということを知らなければならぬ。実際、実習の場では、担当した患者さんをどのようにケアしていくのかチームで意見を出し合い、終了後には互いの専門性と仕事を称え合う光景も見られる。「専門性を活かしながら、医療チームとして協働し、患者・社会へ貢献すること」を木下教授はこれからの薬剤師に求められる力のひとつと話す。そして、最近では医療の世界でもデジタル技術への対応が不可欠となっている。DXやAIの導入が進む中、膨大な症例のビッグデータをどのように活用していくのが課題だ。木下教授は薬学教育においてもITリテラシーが必要だとし、データサイエンスの面から「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」の策定に携わっている。かつて、創薬を領域としていた薬剤師の仕事は患者という人の領域へ、そしてさらには医療社会全体へ、時代の急速な変化とともにさらに大きく変わろうとしている。



気になるあの研究トピックスにフォーカス！

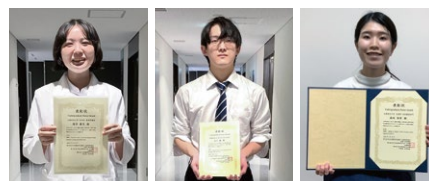
HYO-I FOCUS



APPW2025にて ポスター発表賞を受賞



APPW2025 (第130回日本解剖学会・第102回日本生理学会・第98回日本薬理学会合同学会)にて本学の研究医コースの在学生2名、卒業生1名が「ポスター発表賞」を受賞しました。詳しくはQRからホームページにてご確認ください。



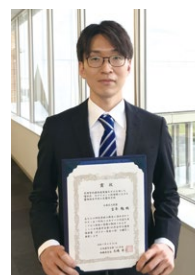
全国リトリート2025にて デザイン賞を受賞

2025年3月16～17日に開催された「全国リトリート2025」にて、医学部5年生 研究医コース(先端医学研究所 未来医療開拓部門所属)の川野 貴史がデザイン賞を受賞しました。詳しくはQRからホームページにてご確認ください。



日本薬学会第145年会にて 学生優秀発表賞を受賞

2025年3月26～29日に開催された日本薬学会第145年会にて、大学院薬学研究科4年生の吉年 勉が学生優秀発表賞(ポスター発表の部)を受賞しました。詳しくはQRからホームページにてご確認ください。



第83回 日本泌尿器科学会 坂口賞を受賞

泌尿器科学 助教 柳 東益は、泌尿器科学の進歩に寄与することが顕著な研究を発表し、将来の発展を期待しうるものと評価され坂口賞を受賞しました。



タイトル

Uroflowmetry is a viable surrogate for urethroscopy in evaluation of anatomical success following urethroplasty



Disease Colon & Rectumに 論文掲載

消化器外科学 講師 木村 慶、主任教授 池田 正孝と関西医科大学医学部下部消化管外科学講座 主任教授 渡邊 純らとの研究チームが2022年日本癌治療学会で報告した研究内容が「Disease of the Colon & Rectum」に掲載されました。詳しくはQRからニュースリリースをご確認ください。



タイトル

ICGを用いた腸管血流の蛍光観察により直腸がんにおける左結腸動脈温存手術が腸管血流や術後合併症に影響しないことを確認

TOPICS

兵医の注目トピックス



International Student
留学生たちの

Reports



研修レポートや
留学に関する
情報はこちら

本学の協定校であるクロアチアのリエカ大学に医学部の学生2名が3週間の「基礎研究留学」に行きました。リエカ大学とは従来より臨床実習のための交換留学を実施していましたが、研究に関する留学は初の試みです。



兵庫医科大学
医学部4年
三井 育俊



最新の実験技術を体験し、実際の研究現場での経験を積むだけでなく、リエカ大学の研究者の皆さんとの交流を通じて、国際的な視野を広げることができました。将来への大きな財産となったこの経験を活かし、国際的な視野を持った臨床医を目指します。

最新の実験技術を体験し、細胞観察の技術向上と、 実際の研究現場での経験を積むことができました。

- 1 Week
細胞から抽出したタンパク質をSDS-PAGEという技術で分離し、その後ウェスタンブロッティングにより特定のタンパク質を抗体を用いて検出しました。
- 2 Week
細胞生物学の基礎技術であり、様々な実験において重要な役割を果たす培養技術を学び、コンタミネーションなく実験を行うことができました。また、日本では扱ったことのない蛍光顕微鏡を用いて、細胞内のタンパク質や構造を観察し、貴重な経験となりました。
- 3 Week
リアルタイムセルイメージングを用いてウイルスに感染した細胞内での各細胞小器官の動きを観察。これにより、細胞の動態を詳細に解析し、細胞の機能や行動を理解することができました。この技術も日本では見たことがなく、実際に使用して研究している研究員の方からお話を伺うことができ、いい経験になりました。

クロアチアの医学生を見て、「私はこう考える」「こういうことがやりたい」と 自分の意見を伝える積極性が大切だと学びました。

- 1 Week
前から挑戦してみたかった細胞培養の実験では思うようにいかず苦戦しましたが、「最初は失敗するものだから気にしないで!」と先生に優しく丁寧に指導していただきました。自分の手で培養した線維芽細胞を観察できたときは、とてもうれしく達成感がありました。
- 2 Week
蛍光顕微鏡と共焦点顕微鏡の実験中、観察対象であるウイルス蛋白がサイトプラズマや核に存在しないのはなぜか、先生と話し合いをし、考察をしたことは非常に有益な時間でした。
- 3 Week
3年生の講義に参加する機会をいただき、免疫学の抗原や抗体、免疫応答、抗原抗体反応を用いた検査についての授業を受けました。日本にはない授業形態で最初は戸惑いましたが、生徒自身が自発的に学び発言する、また先生が問いかけるとすぐに回答をするなど、私と同学年である医学生の積極的な姿勢には非常に刺激をもらいました。



兵庫医科大学
医学部4年
森田 千晶

大学での研究だけでなく、フリータイムにはクロアチアの自然や文化、伝統的な料理など観光を楽しみました。国際交流を通して彼らと話す中で、もっと自分の意見を英語で伝えられるようになりたいと感じました。そのため、今後も英語力のさらなる向上に励んでいきたいです。

NEWS

兵医の気になるニュース



2025年度 早期臨床体験実習を実施



各学部1年生がIPE(多職種連携教育)として初めて医療の現場を体験する4学部合同の実習科目「早期臨床体験実習」を西宮本院にて実施しました。実習では各病棟や薬剤部、リハビリテーションセンターにて職種の垣根を超えた連携や実際の業務を肌で感じ、また実習後のグループディスカッションや発表を通じて、自分の目指す医療人像を具体化することができました。

2025年度 医学部4年次講義
「英語で学ぶ臨床推論」を実施

2014年から続く講義のすべてを英語のみで行う専門科目「英語で学ぶ臨床推論」について今年度は米国からRebecca A. Harrison客員教授を迎えて実施しました。この講義では患者

さんの症状や症候から複数の鑑別診断を挙げ、最終的な臨床診断までを行うプロセスを症例の読解や症例プレゼンテーション、教員との討論を通じて約1ヶ月間学習します。

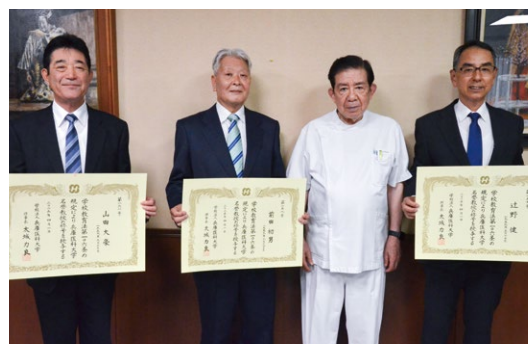
ボランティアグループ「ささゆり」
活動15周年記念式典を開催

2010年に結成されたささやま医療センターのボランティアグループ「ささゆり」が活動15周年を迎えました。イベントの企画や研修医への講話など様々な活動を通じて、同センターを支

援していただいたことに、藤岡病院長から感謝状が贈られました。



兵庫医科大学 名誉教授 称号授与



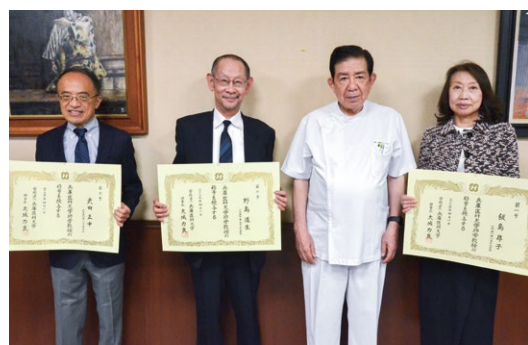
▼写真左から(受賞者のみ)

山田 大豪(リハビリテーション学部)、前田 初男(薬学部)、辻野 健(薬学部)、清宮 健一(薬学部)、細見 明代(看護学部)、廣田 誠一(病理学 病理診断部門)

教育もしくは学術上の功績が特に顕著であったことを顕彰するため、2024年度は6名に名誉教授の称号を授与しました。



兵庫医科大学 功労教授 称号授与



教育もしくは学術、診療上の功績が特に顕著であったことを顕彰するため、2024年度より新たに功労教授の称号基準を設け、9名に称号を授与しました。

共同開発したCBT支援アプリ
「emol」が探索的治験を開始

本学の精神科神経科学と精神疾患向けSaMDの開発を行う「emol株式会社」が共同開発した、強迫症(強迫性障害)患者を対象としたアプリケーションによる認知行動療法(CBT)の実践を支援する医療機器プログラム(未承認・開発中)について、emol株式会社は、当院を含む3つの医療機関で2025年6月より探索的治験を開始しました。詳しくはQRよりホームページをご確認ください。

血管外科手術の技術と知識を競う
「AAAトライアスロン」で
心臓血管外科の医師が準優勝

2025年5月22日、第53回日本血管外科学会で開催された手術の技術と知識を競う「AAAトライアスロン」で心臓血管科学 助教 上村 尚、病院助手 豊島 慶雄、豊後 雅史のチーム

が準優勝を果たしました。詳しくはQRよりホームページにてご確認ください。

【大学病院初】診療支援ツール
「medimo」を導入

当院は、全国の大学病院で初めて音声認識と生成AIを活用した診療支援ツール「medimo(メディモ)」を導入しました。医療現場での会話を自動で文字起こしし、生成AIが要約文を

作成することで、電子カルテへの記録を効率化します。とくに医師による病状説明やインフォームド Consent(治療や手術前の説明と同意)の記録支援に活用できます。

西宮市主催の大規模土砂災害を
想定した防災訓練に参加

2025年5月29日に「阪神・淡路大震災30年事業」の1つとして、西宮市主催の地震による大規模土砂災害を想定した防災訓練が実施されました。本訓練は各機関との連携や災

害対応能力の向上を目的としており、当院からは医師・看護師をはじめとした医療チームが参加しました。詳しくはQRよりホームページにてご確認ください。



INFORMATION

法人からのお知らせ

2024年度 学校法人 兵庫医科大学 決算

概要

2024年度は、新病院棟建設や持続的な投資を可能とする財務基盤の強化に向け、基本金組入前当年度収支差額として1,954百万円を期初予算に計上しました。不安定な国際情勢や円安進行による物価高騰、コロナ関連の公的支援の終了、人件費負担増などの厳しい環境が続く中、医療収支の改善に加え、業務運営の効率化や経費抑制に取り組んだ結果、基本金組入前当年度収支差額は2,730百万円(前年度比1,346百万円減)となりました。コロナ関連補助金の影響を除いた比較では、前年度と同水準の収支差額を維持することができました。

事業活動収支計算書 (2024年4月1日～2025年3月31日まで)

● 教育活動収支

(単位:百万円)

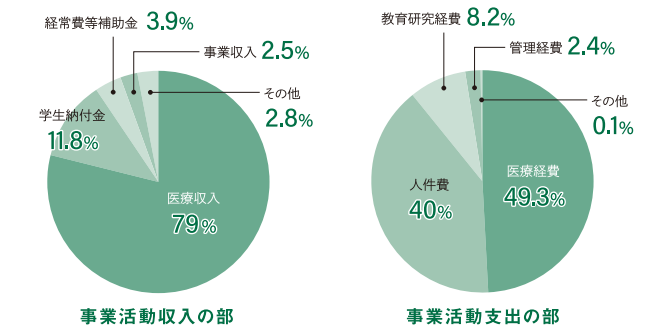
科目		予算	決算	差異
収入の部	学生納付金	7,262	7,137	125
	手数料	230	242	△12
	寄付金	609	533	76
	経常費等補助金	2,241	2,401	△160
	付随事業収入	50,741	50,755	△14
	事業収入	1,382	1,533	△151
	医療収入	49,359	49,222	137
	雑収入	679	774	△95
	教育活動収入計	61,763	61,843	△80
支出の部	人件費	23,866	23,826	40
	教育研究経費	5,269	4,906	363
	医療経費	29,387	29,365	22
	管理経費	1,505	1,393	112
	徴収不能額等	0	10	△10
		教育活動支出計	60,028	59,500
	教育活動収支差額	1,734	2,343	△609

● 教育活動外収支

(単位:百万円)

科目		予算	決算	差異
収入の部	受取利息・配当金	277	333	△56
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	277	333	△56
支出の部	借入金等利息	22	39	△17
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	22	39	△17
教育活動外収支差額		255	294	△39
経常収支差額		1,989	2,637	△648

2024年度決算構成比率



● 特別収支

(単位:百万円)

科目		予算	決算	差異
収入の部	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	65	100	△35
	特別収入計	65	100	△35
支出の部	資産処分差額	16	5	11
	その他の特別支出	0	2	△2
	特別支出計	16	8	8
特別収支差額		49	93	△44
〔 予備費 〕		〔 117 〕		
		83		83
基本金組入前当年度収支差額		1,954	2,730	△776
基本金組入額合計		△9,561	△11,114	1,553
当年度収支差額		△7,607	△8,384	777
前年度繰越収支差額		△34,768	△34,768	0
基本金取崩額		0	0	0
翌年度繰越収支差額		△42,375	△43,152	777
(参考)				
事業活動収入計		62,104	62,276	△172
事業活動支出計		60,150	59,546	604

〈教育活動収支〉教育活動収入は61,843百万円となり、前年度比659百万円の減収となりました。学生納付金は、薬学部在学生数減などの影響で前年度比102百万円減収となりましたが、教育活動収入の大半を占める西宮本院の医療収入は、入院延患者数の増加、入院単価の上昇が寄与し、前年度比785百万円増の45,521百万円となりました。一方で、経常費等補助金は、感染症対策に係る補助金が減少したため、2,401百万円と前年度比1,057百万円の大幅な減収となりました。教育活動支出は、59,500百万円となり、前年度比736百万円の増加となりました。人件費は、処遇改善を目的としたベースアップの実施、退職給付関連費用の増加などにより、前年度比232百万円増の23,826百万円となりました。教育研究経費は、修繕費、損害保険料、旅費交通費などが増加したため、前年度比36百万円増の4,906百万円となりました。また、医療経費は、物価高騰の影響による業務委託費や医療用消耗品費などの増加によって、前年度比372百万円増の29,365百万円となりました。この結果、医療収支差額は前年度比377百万円改善して19,857百万円となりました。

〈教育活動外収支・特別収支〉教育活動外収支は、有価証券の積み増しや運用利回り向上により受取利息・配当金収入が増加したため、前年度比66百万円増の333百万円となりました。また、固定資産処分差額が減少したことにより、特別収支は前年度比3百万円減の93百万円となりました。

資金収支計算書 (2024年4月1日～2025年3月31日まで)

● 収入の部

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生納付金収入	7,262	7,137	125
手数料収入	230	242	△12
寄付金収入	630	562	68
補助金収入	2,241	2,421	△180
資産売却収入	0	16,700	△16,700
付随事業・収益事業収入	50,741	50,755	△14
事業収入	1,382	1,533	△151
医療収入	49,359	49,222	137
受取利息・配当金収入	277	333	△56
雑収入	679	762	△83
借入金等収入	218	10,198	△9,980
前受金収入	1,099	1,031	68
その他の収入	11,212	10,997	215
資金収入調整勘定	△12,206	△11,380	△826
前年度繰越支払資金	14,014	14,014	-
収入の部合計	76,397	103,772	△27,375

● 支出の部

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	23,631	23,548	83
教育研究経費支出	4,003	3,385	618
医療経費支出	27,042	27,024	18
管理経費支出	1,352	1,217	135
借入金等利息支出	22	39	△17
借入金等返済支出	853	2,233	△1,380
施設関係支出	8,754	7,620	1,134
設備関係支出	904	829	75
資産運用支出	500	22,411	△21,911
その他の支出	8,228	8,074	154
〔予備費〕	〔130〕		
	70		70
資金支出調整勘定	△7,917	△7,295	△622
翌年度繰越支払資金	8,956	14,686	△5,730
支出の部合計	76,397	103,772	△27,375

〈資金収支計算書〉資金収支については、支出(資産運用支出含む)が前年度比22,642百万円増加したものの、収入(資産売却収入含む)が前年度比23,585百万円増加したため、翌年度繰越支払資金(現金預金)は、2023年度末14,014百万円より672百万円増加し、14,686百万円となりました。

貸借対照表 (2025年3月31日)

● 資産の部

(単位:百万円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	87,246	82,935	4,311
有形固定資産	61,912	57,307	4,605
土地	15,581	15,581	0
建物・構築物	28,176	29,989	△1,813
教育研究用機器備品	6,251	7,294	△1,043
管理用機器備品	99	119	△20
図書	412	399	13
建設仮勘定	11,381	3,910	7,471
その他	11	16	△5
特定資産	9,282	8,777	505
その他の固定資産	16,052	16,850	△798
その他	16,052	16,850	△798
流動資産	40,721	34,738	5,983
現金預金	14,686	14,014	672
有価証券	15,114	9,100	6,014
その他	10,920	11,624	△704
資産の部合計	127,967	117,672	10,295

※減価償却額の累計額:68,026百万円／基本金未組入額:6,373百万円

● 負債の部

(単位:百万円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	25,891	17,797	8,094
長期借入金	16,031	7,942	8,089
退職給与引当金	7,671	7,393	278
長期未払金	234	377	△143
長期前受金	1,954	2,085	△131
流動負債	9,674	10,202	△528
短期借入金	747	871	△124
1年以内償還予定学校債	10	10	0
未払金	7,498	7,887	△389
前受金	1,161	1,194	△33
その他	258	240	18
負債の部合計	35,564	27,999	7,565

● 純資産の部

(単位:百万円)

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	135,555	124,441	11,114
繰越収支差額	△43,152	△34,768	△8,384
翌年度繰越収支差額	△43,152	△34,768	△8,384
純資産の部合計	92,403	89,673	2,730
負債及び純資産の部合計	127,967	117,672	10,295

〈貸借対照表〉2024年度末の純資産(資産-負債)は、大幅な黒字決算を背景に前年度末比2,730百万円増の92,403百万円となりました。資産の部は、建物・機器等の減価償却が進んだ一方で、新病院棟建設に伴う建設仮勘定や資金の効率的運用による有価証券等の増加によって、前年度比10,295百万円増加し127,967百万円となりました。負債の部は、新病院建設費用の支払いに伴う借入金の増加等により、前年度比7,565百万円増の35,564百万円となりました。なお、2024年度末の総保有資金残高は、前年度比6,383百万円増の47,699百万円となりました。

INFORMATION

法人からのお知らせ

兵庫医科大学 開学50周年記念事業募金 状況報告

「兵庫医科大学開学50周年記念事業」のための募金活動を開始し、教職員・名誉教授の方々をはじめとして、後援会（保護者）、同窓会（緑樹会、海臈会）、企業等法人、関連病院など幅広い方々から温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。ご協力賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、改めて感謝の意を表したいと存じます。

(～2025.6.30)

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	240	886,180,000円	680	325,551,888円	920	1,211,731,888円
入金	240	886,180,000円	680	323,431,888円	920	1,209,611,888円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧（順不同）

企業等 医療法人ラポール会 青山病院様 [1,000,000円]／有限会社宝塚新樹園様／日清医療食品株式会社様

緑樹会 黒田 佳治様 他匿名1名

その他個人 森田 舞様 [10,000円]／河野 清子様／北条 努様 他匿名2名

教職員等 奥田 房子様

(2025.4.1～2025.6.30)

新病院 クラウドファンディング結果報告

＼ たくさんのご支援をありがとうございました ／

4月1日より実施しておりました『「ひと」が主役の新病院 | すべてのひとの想いに寄り添う、快適な空間を』と題したクラウドファンディングが5月30日に無事終了いたしました。皆さまに、関係者一同心より厚く御礼申し上げます。

「患者さんやご家族、医療従事者にとってより良い環境を提供する」という方針にご賛同いただいた皆さまのご支援もあり、寄付総額は14,196,619円という目標金額を大きく上回る結果となりました。

いただいたご寄付は、ホスピタルアート・外来待合の充実にかかる院内空間の快適化の一部費用に充てさせていただきます。

2026年秋の開院に向け、より一層安全で質の高い医療が提供できる新病院棟や環境づくりに全力を尽くすとともに、地域の皆様と共に歩み、愛される病院を目指してまいりますので、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



実施期間

2025年4月1日～5月30日

寄付件数

147件

寄付総額

14,196,619円
(目標金額：6,000,000円)

新病院
特設サイト



人事情報 2025年6月12日～

改正私立学校法施行に伴う本学寄附行為の改正により6月12日付で新役員が選任され、下記のとおり就任いたしました。

理事

● 再任

学校法人兵庫医科大学 理事長	太城 力良
学校法人兵庫医科大学 副理事長	野口 光一
学校法人兵庫医科大学 常務理事	松村 昭夫
学校法人兵庫医科大学 常務理事	阪上 雅史
兵庫医科大学 学長	鈴木 敬一郎

兵庫医科大学 教授 兵庫医科大学病院 病院長	池内 浩基
兵庫医科大学 教授 ささやま医療センター 病院長	藤岡 宏幸
学校法人兵庫医科大学 理事	佐々木 周一
兵庫県 保健医療部 部長	山下 輝夫
医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院 理事長	大江 与喜子

監事

● 新任・再任

学校法人兵庫医科大学 常勤監事	廣田 誠一(新任)
社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 神奈川県済生会 神奈川県病院 顧問	正木 義博
公認会計士	後藤 研了

評議員

● 新任・再任

兵庫医科大学 教授・副学長	田中 稔之
兵庫医科大学 教授・副学長	小山 英則
学校法人兵庫医科大学 事務局長	中村 高志
緑樹会(同窓会)会長・神戸市立医療センター 中央市民病院 放射線診断科 参事	石藏 礼一
海臈会(同窓会)会長・社会医療法人 ベガサス馬場記念病院 薬剤部	澤田 友宏
兵庫医科大学後援会 会長 林小児科内科 院長	林 伸樹(新任)

弁護士	木内 道祥
兵庫県医師会 会長・八田クリニック 院長	八田 昌樹
医療法人協和会 理事長	北川 透
東京医科歯科大学(現・東京科学大学) 名誉教授	西岡 清
公益社団法人兵庫県看護協会 会長	丸山 美津子
西宮市 副市長	岩崎 敏雄